

抗菌薬投与時間診票

患者氏名		患者 ID			
問診実施日	年 月 日	診療科		問診医師名	

- 抗菌薬を使用する際には、以下に従って問診を必ず行うこと
- 問診時にはアレルギー歴記録簿の記録内容および患者基本情報の薬剤禁忌に登録された内容を再度確認すること
- 投与前に救急医薬品の配置場所と院内救急コール（1191）を確認しておくこと
- 投与開始から投与終了後まで、患者を安静の状態に保たせ、20-30 分は十分な観察を行うこと。特に、投与開始直後は注意深く観察すること

使用予定の抗菌薬名 _____

※以下の設問について「有」「無」のいずれかを選択して → で示す指示に従ってください

- これまでに何かのアレルギーがあるといわれたことがありますか？
 - ☐ 無 → 投与可：アナフィラキシー発現に対応できる体制を確保して投与する → 設問終了
 - ☐ 有 → 2 へ
- 抗菌薬（抗生物質）で過敏症（副作用）を起こしたことがありますか？
 - ☐ 無 → 投与可：アナフィラキシー発現に対応できる体制を確保して投与する → 設問終了
 - ☐ 有 → 3 へ
- 抗菌薬（抗生物質）投与時に発現した症状はいずれに該当しますか？
 - ☐ 消化器症状（食欲不振、嘔気、下痢等）のみ → 投与可：アナフィラキシー発現に対応できる体制を確保して投与する → 設問終了
 - ☐ 神経症状（頭痛、不眠等）のみ → 投与可：アナフィラキシー発現に対応できる体制を確保して投与する → 設問終了
 - ☐ 皮膚症状（皮疹、掻痒感等）あり → 4 へ
 - ☐ その他 _____ → 4 へ
- 使用予定の抗菌薬と同系統の抗菌薬によるアナフィラキシーショックや粘膜障害を伴う重症薬疹（Stevens-Johnson 症候群（SJS）、多形紅斑、中毒性表皮壊死症（TEN）等）およびその既往はありますか？
 - ☐ 有 → 当該抗菌薬および同系統（ β -ラクタム系薬の場合は全 β -ラクタム系薬を含む）の抗菌薬は禁忌です → 他系統（ β -ラクタム系薬の場合はそれ以外）の抗菌薬を選択する → 設問終了
 - ☐ 無 → 5 へ
- 使用予定の抗菌薬によるショック以外の過敏症の既往はありますか？
 - ☐ 有① → 当該抗菌薬および同系統の抗菌薬（ β -ラクタム系薬の場合は同系統＋同一側鎖構造を有する他系統の β -ラクタム系薬）は原則禁忌ですが、 β -ラクタム系薬で上記以外の他系統抗菌薬を使用せざるを得ない場合は感染対策マニュアルの確認とともに、感染制御部へ相談ください。 → 設問終了
 - ☐ 有② → 当該抗菌薬および同系統の抗菌薬（ β -ラクタム系薬の場合は同系統薬＋同一側鎖構造を有する他系統の β -ラクタム系薬）は原則禁忌です → 他系統（ β -ラクタム系薬の場合はそれ以外）の抗菌薬を選択する → 設問終了
 - ☐ 無 → 6 へ
- 使用予定の抗菌薬と同系統の抗菌薬で、ショック以外の過敏症の既往はありますか？
 - ☐ 有① → 当該抗菌薬および同系統の抗菌薬（ β -ラクタム系薬の場合は同系統＋同一側鎖構造を有する他系統の β -ラクタム系薬）は原則禁忌ですが、 β -ラクタム系薬で上記以外の他系統抗菌薬を使用せざるを得ない場合は感染対策マニュアルの確認とともに、感染制御部へ相談ください。 → 設問終了
 - ☐ 有② → 当該抗菌薬および同系統の抗菌薬（ β -ラクタム系薬の場合は同系統＋同一側鎖構造を有する他系統の β -ラクタム系薬）は原則禁忌です → 他系統（ β -ラクタム系薬の場合はそれ以外）の抗菌薬を選択する → 設問終了
 - ☐ 無 → 投与可：アナフィラキシー発現に対応できる体制を確保して投与する → 設問終了